

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月1日

【評価実施概要】

事業所番号	0177600301		
法人名	有限会社 共生會		
事業所名	ぐるーぷほーむ 樹林		
所在地	石狩市緑苑台東3条3丁目255 (電話) 0133-76-2601		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年4月25日	評価確定日	平成20年5月16日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月7日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤9人, 非常勤1人, 常勤換算4.25人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有(42,000円)		暖房費(11~3月) 6,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	87.5歳	最低	82歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	やしま内科消化器科	平川歯科医院
---------	-----------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所として日頃から、特に力を入れていることは、利用者の健康管理で、毎食後と朝の起床時には、職員の支援で口腔ケアを欠かさず実行している。さらに、1日の水分摂取量の把握と水分補給の支援を職員全員で取り組んでいる。また、地域住民や利用者家族を対象に「認知症家族介護教室」を年3回ほど開催し、啓発に努力している。事業所内で週4回、職員研修の時間を設定し、学習会を継続して行なうなど、サービスの質の向上を図っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	全職員で改善項目2点について話し合い、施設長を中心に取り組みを開始して改善につなげている。とくに、「ホームだより」は見やすく判りやすいできばえで、家族から好評を得ている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で日常業務の合間を利用して話し合いを重ね、検討が行なわれている。取り組みをしたい項目は外部評価の終了後、さらに深めて行なう予定になっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は軌道に乗りつつあるが、経過報告の段階であり、今後の内容充実を期待をしたい。家族の参加については、全員を対象に考えている。さらに、地域の協力を得た避難訓練や、行事などの交流を検討中である。『認知症家族介護教室』をテーマとした会議の内容は特筆に値する。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所の入口に意見箱を設置しているが、家族の意見などは見られない。運営に関しても不満などは聞かれない。さらに、運営推進会議や面会時の会話など交流を密にして、さらなる取り組みへの工夫が求められる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の年間行事の中に、地域の行事を盛り込みながら積極的に参加して、地域との連携を図るなど、利用者の楽しみと生活の広がりが見られる。日常的に近所とお付き合いが自然体でなされている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時の理念から地域密着型サービスとしての理念に職員全員で検討して、作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングで繰り返し確認して、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の年間行事の中に、町内会や街の行事に参加することを盛り込み、地元の人々と交流が盛んに行なわれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価の各項目を検討し、少しの時間でも話し合いを数多くもち、意義を理解して改善に向けて努力している。		

石狩市 ぐるーぷほーむ 樹林

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、現在取り組んでいる内容について報告し、意見を求めて、「認知症家族教室」を開催するなど新しい取り組みをしている。現在、会議の内容充実を検討中であり、その成果に期待したい。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所では行政と連絡を取り、『認知症家族教室』の講師依頼やサポーター養成講座への展開など常に連携をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「ホームたより」を3ヵ月ごとに発行するほか、家族への定期的な電話などで健康状態、金銭報告、職員の異動など細やかに報告し、家族の面会時にさらに詳しく知らせている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが利用はなく、運営に関しては、家族などの意見は特にない。	○	家族が意見や感想などを気軽に話せるように日頃から情報を発信し、面会時に声掛けをするなど、工夫と努力を期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は極力ひかえて、利用者に影響がないように配慮するとともに、ほかの職員が慎重に対応して、ダメージを最小限に防ぐ配慮がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の年間計画が作成されており、外部の研修に参加したり、内部でも週4回の短時間でもテーマを持って学びを継続している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回、同系企業の職員と研修会を開催し、交流をしているほか、ほかの事業所の見学を実施するなど交流を通じたサービスの向上が図られている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者並びに家族とは、面接や話し合いを重ね、さらに体験入居を実施し、職員やほかの利用者と馴染めるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者とともに生活する仲間として、喜怒哀楽を共感し、利用者から学ぶ姿勢を重視し、支え合う関係を保っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの考えや希望など、意向を把握して、居心地良く過ごせるように支援している。意志の疎通が困難な利用者には、家族からの情報を的確に把握しながら、本人の思いや意思を生活に反映させるよう支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員間の連携は良好で、利用者全員の介護計画書は日常業務の見やすい場所に置かれている。介護計画の作成時には、家族の意見や本人の気持ちを考慮して話し合い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の全体ミーティングで見直しの必要性などが検討され、3ヵ月ごとに見直しが行われている。急変の時は、現状に即した対応をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況により、利用者本位の病院の通院介助、体調を考慮した外出支援、買物や外食の同行など、多機能的を生かした柔軟な支援が行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員は、利用者が協力医療機関の往診、または外来通院で適切な医療を受けられるように支援している。さらに、家族には状況の報告を電話などで知らせている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状況によって、家族と話し合いをする仕組みになっているが、事業所としての方針は確定していない。	○	入居時から事業所としての方針を家族と利用者及び掛り付け医などを交えた協議を行い、同意を交わすような取り決めに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の勉強会で繰り返し、プライバシーの尊厳などについて学び、言葉掛けや記録の扱い、さらに情報の管理など慎重に対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、利用者の当日の予定を大まかに伝えて、一人ひとりの状況に応じて、自発性を引き出すように支援し、利用者が日々の生活が満足に過ごせるよう配慮している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、利用者の楽しみとなるように工夫されている。特に、昼食は職員が献立を利用者の希望や好みに合わせて作成し、準備から片付けに至るまでともに協働作業とし、楽しみながら行なわれている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、一人ひとりが週3回を目途に、実施できるように促したり、応援したり、個別の対応をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は全て女性で、それぞれ得意分野の家事への協力がある。掃除、洗濯、調理、片付けなど各部門の参加があり、職員は、感謝の言葉を多く掛けながら自立への支援が行なわれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候やその日の気分で、自由に外出のプログラムを設定し、個別に対応して、散歩や買物など、外出支援をしている。外食など利用者の楽しみになっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、居間から続く玄関の出入りの把握が容易で、さらに、開閉時は鈴をつけて判りやすくするなどの工夫をしている。夜間のみ施錠している。		

石狩市 ぐるーぷほーむ 樹林

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急マニュアルを作成しているが、書庫に保管している。避難訓練を年2回実施しているが、訓練に対する評価・反省など記録が不十分であり、また、消防署との協調性が不足している。	○	災害対策として避難訓練や防災のマニュアルの利用、さらに、記録の充実、また、夜間を想定した地域の人々の協力体制などの取り組みを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専門業者による朝・夕の献立と職員の工夫による昼食でバランスのとれた食事となっている。特に、水分摂取には細かく記載し、一人ひとり個別の対応で、健康の維持に対する手厚い支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所全体が明るく、台所を中心に利用者の動きが把握できる配置になっており、生活感や季節感が所々に見られるなど、暖かい感触で居心地良く過ごせるように配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や仏壇など馴染みの調度品を生活スタイルに合わせて配置し、落ち着いた居室になっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。